

この件に関するお問い合わせは、ディーディーエスにてお受けいたします
直接、事例先への問い合わせは迷惑となりますので厳にお慎み下さい

商品特性にあわせてレイアウトを変更できる、
自由度の高い自動組版をご提案。
カタログ制作担当者の負担を大幅軽減。



教育図書株式会社様

教育図書株式会社様 企業概要

中学の技術・家庭科、高校の家庭科、書道の検定教科書、副教材、指導書などの出版を行っています。さらに、教科書発行70年のノウハウを生かし、現場の先生方の「トータルサポート」を目的とした、授業で使用するさまざまなオリジナル教材の開発・販売もしています。



イラストや写真がちりばめられ、楽しみながら学べる教育図書の教科書。
資料や発展学習に関する情報も充実しています。

導入前

教材カタログの情報収集や編集作業、デザイナーとのやりとり…。多忙を極め他の業務に支障が。改訂でも紙面を大幅に変更するため業務負担は毎年大きくなります。

導入後

業務の見直しによって商品担当者がディーディーエスと直接やりとり。これにより窓口の担当者様の負担が大幅に軽減。独自の自動化により、紙面レイアウトも複数のバリエーションが可能。

> 課題

> 導入に際して

> 効果

> 今後

課題

教育図書様は全国の中学校や高校へ、技術・家庭科、家庭科および書道の教科書や副教材、さらには授業で使用する教材の販売を行っています。現在ディーディーエスでは、自動組版による教材カタログの制作業務を請負っております。

教育図書様のカタログづくりの自動化を推進したのが、取締役編集部長の横谷礎様です。自動化以前の教育図書様では、他部署で扱う商品情報を編集部が取りまとめDTPデザイナーへ発注されていました。当時の様子について次のように語ります。

「担当者から渡された原稿をこちらで整理するのも一苦労。しかも仕入れ商品の改廃は頻繁にあるため、情報管理がとても大変でした。一方でカタログは当社としても重要な営業ツールですので、毎年デザインを変え、商品が魅力的に伝わる紙面を目指さなければなりません。つまり、商品情報を差し替えるだけではなくデザイン自体もその都度見直すために、編集スタッフにも発注先のデザイナーさんにも大きな負担がかかっていました」。また編集部ではカタログの編集だけではなく、教材開発や教科書本体の編集なども平行して行っていたため、業務は多忙を極めていました。「どうにもならない! という状況に追い込まれたとき、ディーディーエスさんに連絡を入れたのです」



取締役 編集部長
横谷 礎様

導入に際して

横谷様からのご依頼を受けたディーディーエスでは、当時のカタログを徹底的に分析しました。広い分野の商品を扱っているカタログだけに、付いている項目の名称もまちまちで、全体として項目が統一されていないことに気づきました。そこでまずはデータベースを作成する上で、各商品ごとに、この情報はどの項目に納めるのかを明確にして整理することをご提案いたしました。

2つ目のご提案が、オンラインによるカタログ商品データベースメンテナンスシステムです。教育図書様の商品情報の改廃が非常に多いため、レイアウトを組んだ後に訂正作業をしていたのでは手間とコストがかかります。また製作期間が長期になるほど、情報の更新も増加していくという課題もありました。これを解決するために、教育図書様自らがデータベースを容易にメンテナンスできるオリジナルの入力フォームを開発しました。この入力フォームを使えば、データベースは常に最新の情報が反映されたものになります。そしてこの最新データを自動組版に用いることで作業の迅速性と情報の正確性を向上させ、発行時期に合わせ無理なく作業できるようにしました。

効果

カタログづくりが軌道に乗った今、編集部はカタログ制作の窓口業務から解放され、教科書作成や教材の開発に注力しています。

「自動組版によりコスト面ではそれまでの半分、納期面でも2カ月以上短縮できるようになりました。さらに、業務の画一化により窓口担当者として情報をまとめる必要がなくなり、ディーディーエスさんと各商品担当者が直接やりとりできるようになりました。自動組版導入の大きな目的には編集部の業務負担の軽減もあったので、これは非常にうれしかったですね」

現在ディーディーエスが担当しているカタログは多いもので200ページを超え、アイテム数は3000以上にのびます。さらに商品は自社開発のオリジナル商品、業者からの仕入れ商品、ミシン糸のような消耗品から高価なデジタル機器まで多岐にわたり、それぞれの特性に合わせて紙面をレイアウトする必要があります。ディーディーエスでは独自の自動化技術を用いることで、膨大な情報を管理しつつ自由度の高い紙面レイアウトを作成しています。



自動組版による教材カタログの紙面。このように掲載する情報の質によってレイアウトを自在に変更することも可能です。

今後

教育図書様ではさらに、データベースの利用と活用についての検討がはじめられています。「カタログ制作については、ほぼ満足できる状態です。今後はさらにディーディーエスさんの技術を用いて、さまざまな面での経営効率を図ってまいります。たとえば当社では、同一の総合カタログを年2回学校に発送しています。しかしデータベースを利用すれば、トレンド商品だけの抜粋版も簡単に作成することができます。これを2回目に発送することで先生方へのアピールも効果が高まるのではないのでしょうか。もう1つが販売管理システムの効率化です。カタログ作成で最新にメンテナンスされた商品情報を提供いただき、これを受発注システムに活用すれば効率的でミスのない業務につながるはずです。その他、ウェブでのプロモーション活動にもデータベースを上手に使っていききたいですね。」とお考えになられています。

教育図書様が期待するデータベースを軸にした横展開のソリューションは、データベースパブリッシングを長年追求してきたディーディーエスだからこそできること。これからも、教育図書様をはじめ企業経営をダイナミックに変えるさまざまなソリューションを提供してまいります。

カタログ制作で構築したデータベースをフル活用

